

## 神戸市外国語大学訪問プログラム

- 1 目的： ZOOMを使って神戸市外国語大学を訪問し、大学の仕組みや研究内容について学ぶ。  
また生徒を12教室に分けて、ポスターセッションでの発表、および大学生による英語プログラムに参加することで、英語学習、国際時事問題に関心を高める。
- 2 対象： 49回生 2年1組（国際探求学科）36名
- 3 日時： 令和4年1月23日（日） 8：30～15：30
- 4 場所： 本校12教室⇄神戸市外国語大学（ZOOMによる交流）
- 5 内容：  
9：00～ 9：10 オープニング  
9：10～ 9：30 大学説明  
9：50～11：40 探究発表（各班8分発表、8分質疑及び助言）  
12：20～14：15 大学生との英語体験授業（2グループに分かれて）  
14：55～ クロージング

当初は神戸市外国語大学を訪問し探究発表をする予定でしたが、新型コロナウイルスが拡大していく中で活動ということで、ZOOMを使った学校間の交流に変更しました。最初に企画広報担当から大学について歴史や学科の特徴などの説明を受けました。その後、探究活動の最終発表会を兼ねて、ZOOMを使って英語でのポスター発表を行いました。多くのポスター班が実際にインタビューや調査を基に考察を進めており、外大学生からも発表内容について英語による質の高い質問が何度も出ました。生徒は時には戸惑いながらも一生懸命英語で受け答えしようとする姿が見られました。今回のポスター発表を通して、新たな気づきも得られ、自分たちの探究活動の理解をより深めることができました。

探究発表後は、2つのグループに分かれて、外大生が考えた英語での体験授業に参加しました。急遽ZOOM形式になったにも関わらず、外大生の授業はどれもよく練られていました。約2時間の活動でしたが、あっという間に時間が過ぎてしまったというくらいに英語での活動に生徒は没頭していました。生徒たちは英語を使うことの楽しさを改めて感じることができ、刺激の多い充実した一日となりました。

### 【生徒の感想】

●今回の探究活動を通して大学生の方々にアドバイスをいただいた内容は、最初に読んだsummaryと中身の活動内容、調査結果、そして最後のまとめの内容が全てにおいてどれも一致しているのかが一番のポイントになるとおっしゃっていたので、それを聞いてなるほどと思いました。自分たちの発表を聞いていただいたほとんどの大学生の方々からはとても良いと自分達のレポートを絶賛してくれました。とても嬉しかったです。

●ベトナム人を対象にしたこの活動のことを良い着眼点だと褒めてもらえました。自分が頑張っていて誰にも気づいてもらえなかったことを大学生の方に褒めていただけて自分がコツコツ頑張ってきたことを認めてもらえたような気がしてすごく嬉しかったです。これからももっとこの活動を続けていこうと思えました。

●日常生活で使えるような英語をたくさん話せたので、とても力がつきました。そして、英語の勉強とともにピカソなどの歴史についても学ぶことができ、その学びを人生ゲームで楽しくできたのですごく良い経験になりました。大学生とこのような経験をできるのは国際探求だからだと思うのでとても良い経験を1日でさせてもらいました。この活動を今後の国際探求の活動に活かしていきたいです。



●とても楽しかったのですが、これが対面だったらなあ～とも思いました。活動内容自体も楽しく、大学生とたくさんコミュニケーションがとれて参加した意義を感じる事が出来ました。大学生の方に褒めてもらえることはモチベーションにも大きく繋がるのでとても嬉しかったです。

●初めはとても難しそうで自分にできるのかな？と思っていましたが、大学生の方が優しく丁寧に教えてくださりとても楽しく企画に参加することができ時間が過ぎるのがあっという間でした。今回の大学生の企画を通して、私も大学生みたいに流暢で綺麗な発音ができるようになりたい！という新たな目標を見つけることができました。ありがとうございました！！

●犯人を探すという面白い企画を組んでいただいて、最初はすごく不安があって聞き取れるのかだったり意味がちゃんと伝わるのかだったり恐れる気持ちでたくさんでしたが、いざ始めるといつの間にか終わってしまっていたくらい楽しんでいました。それはきっと私たちに優しくヒントをくれたりゴールへ導いてくれた大学生の皆さんがいたからだなと実感しています。国際探求学科に入っている色々なカリキュラムを通してどんどん周りに置いていかれてばかりで自信を無くして、本当に英語が好きなのかも分からなくなっていた私でしたが、今回の大学生の方との活動でやっぱり自分は英語で沢山の人と関わるのが好きなんだと再確認できました。本当に感謝でいっぱいです。

